



## どんど焼き行事行われる



文満自治会で行われている様子

餅焼き



上市場・下市場自治会で行われている様子

去る1月14日(日)午後7時より、大鹿各地でどんど焼きが行われました。そこで、大河原護岸現場付近で行われた2箇所の様子取材させていただきました。

まず最初に訪ねたのは、大鹿村交流センター前で行われていた文満自治会の皆さんの所です。自治会長の駒瀬祐二さんのお話によりますと、45戸程と住宅団地の皆様で行われ、36災後から30年間、昨年まで寄付により花火を上げていたそうです。



次に訪れたのは、大鹿小学校のグランド前河川敷で行われていた、上市場・下市場自治会の皆さんの所です。各40戸程、計約80戸の皆さんが集まり盛大に始まりました。

自治会長の立花憲一さんのお話によりますと、この場所に移って行われるようになってから、10年位になるそうです。

実は準備の段階で、大河原護岸の現場で発生した支障木の枝の一部を持って行って頂き、この行事で利用してもらいました。

お礼の言葉までいただきまして、僅かながらでも地域の皆様のお役に立つことができたことは、良かったなと思います。



## 長編劇映画「Beauty」 この冬再び撮影開始!

昨年11月2日より上伊那郡の飯島町にてクランクインした「Beauty」(旧題・村歌舞伎一代)が、2月10日(土)・11日(日)に大鹿村大河原大磧神社に於いて撮影が行われました。各日とも500人のエキストラの募集が1月末にて締め切れ、今回は昭和60年代の時代設定です。撮影は今年春(5月)にも予定され、同様のエキストラ募集があるようです。完成は今年の秋だそうです。

### 【あらまし】

長野県伊那谷伊那路村。木地師の息子である少年半次は、村で奉納行事として長く継承されている村歌舞伎の舞台を初めて観た日、舞台の上で「天竜恋飛沫」を踊る雪夫の舞を観て心を奪われる。その後、雪夫と相手役の少女歌子と共に歌舞伎を始める半次は次第に芝居の世界に魅せられていく。十九歳になった雪夫と半次は立派な女形と立役となって歌子とともに村歌舞伎の人気役者となっていた。そんな中、半次と雪夫に召集令状が届く…。

信州の小さな村を舞台に、村歌舞伎を愛したふたりの男とひとりの女性の半生を通して、歴史に翻弄されながらも芝居を愛することを諦めず、死や別れのときを乗り越え生き抜いた人間の姿を、美しい風光の中に描いた哀しくもやさしいストーリー。



秋のシーンの撮影風景です。参加された皆さんの顔には自然に笑みがこぼれました。



現在飯島町に在住の後藤俊夫監督

本格的な映画撮影に触れることのできる、またと無いチャンスです。ご家族、ご友人、みんなで素敵な思い出作りが出来るのではないのでしょうか。



前回参加者への記念品

詳しいお話・お問い合わせ先は  
・大鹿村のホームページ  
<http://www.vill.ooshika.nagano.jp/> の映画情報

・大鹿村教育委員会 (TEL.0265-39-2100)

今回の取材は大鹿村教育委員会の皆様にご協力、北村尚幸係長さんにお話をお聞きしました。

## 工事現場の紹介

工事名: 平成18年度 天竜川水系 大河原床固工群護岸工事  
工期: 平成18年10月25日 ~ 平成19年 3月29日  
施工: 有限会社 宮澤組  
現場事務所: 0265-39-1202  
本社: 0265-36-2314

現場代理人の月木です。現在大西桜橋付近の兩岸と大鹿小学校の正面(新小渋橋の下流側)で護岸工事を行っています。大西桜橋付近右岸の護岸では現地産の自然巨石を使った親水護岸工法で施工しています。さらに今回施工範囲に芝張りを予定しております。安全を一番に考えて作業を進め、特に小学校付近は細心の注意を払いたいと思います。

工事に関してお気づきの点がございましたら御一報または気軽にお声をかけてください。地域の皆様に出るだけふれ合えたらと思っています。



現場代理人 月木 正幸



監理技術者 池場 廣明



1月末の現場状況